

〈展覧会紹介〉幕末明治のアートシーン	[2～3]
〈イベント報告〉ピカソ フランス国立図書館版画コレクション	[4～5]
それゆけ！ブブ広報部隊 岡太神社 大瀧神社 壺千参百年大祭編	[6～7]
シリーズ ふく美の記憶② 開館初日（1977年11月1日）	[8]
次回の展覧会のお知らせ	
お知らせ	

表紙：木村武山「花鳥図（日盛り）」（右隻部分）1917年（大正6） 当館蔵



幕末明治の アートシーン

～福井ゆかりの作家と同時代の巨匠の作品から～

2018年

9/22^土～11/1^木

※会期中展示替えがあります ※会期中無休

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【料金】一般・大学生 100円(20名以上の団体は2割引)

※70歳以上、高校生以下、障害者手帳等所持者と

その介助者1名は無料

※9/29(土)・30(日)、10/6(土)～8(祝月)、13(土)・14(日)は午後7時まで開館

幕末明治
福井150年博
ニッポンの夜明けは福井から



今から150年前の1868年、250年にもおよぶ江戸時代が終わりを告げ、明治という新しい時代が始まりました。鎖国制度が崩壊し、国際社会のなかの日本として発展すべく、日本は政治や社会制度を大変革させ、近代国家樹立へと大きな歩みを進めていきました。この時代の一大転換期にあたって、美術もまた様々な表現や作品・作家を生み出しました。

今年は明治維新から150年という節目の年を迎えます。これにあわせ、幕末から近代にかけて美術界で活躍した、美術指導者・岡倉天心(1863～1913)や日本画家・幸野楳嶺(1844～1895)、島田墨仙(1867～1943)、岡倉秋水(1867～1950)、美術商・岡島辰五郎(1880～1962)ら福井ゆかりの作家や人物を紹介します。あわせて彼らが交流を持った東京画壇の日本画家・横山大観(1868～1958)や菱田春草(1874～1911)、京都画壇の竹内栖鳳(1864～1942)や山元春挙(1871～1933)といった同時代の巨匠の作品など、約80点を一堂に展示、当時の美術界の様相をご紹介します。

第1章

幕末明治福井の作家たち ～島田墨仙を中心に～

福井出身の作家で歴史画家として活躍した日本画家・島田墨仙を中心に、当時の福井の美術界を紹介。幕末の福井藩士でのち絵師となった父雪谷や兄雪湖などの作品もあわせて展示します。



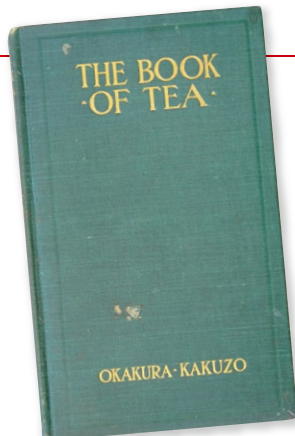
島田墨仙「知音」(旧久遠宮邸換絵) 1930年(昭和5) 当館蔵



島田雪湖「月下孤狼図」
19世紀(明治時代) 当館蔵



山田鬼斎「鷺」
1895年(明治27)
当館蔵



第2章

岡倉天心 ～近代日本美術の父～

日本文化の保護と日本・東洋文化の世界への発信、そして近代日本美術の基礎を築いた福井ゆかりの岡倉天心と、天心の美術教育の実現に尽した福井出身の日本画家、岡不崩や岡倉秋水、彫刻家・山田鬼斎の作品なども紹介します。

岡倉寛三(天心)『茶の本』(ニューヨーク初版本) 1906年 当館蔵

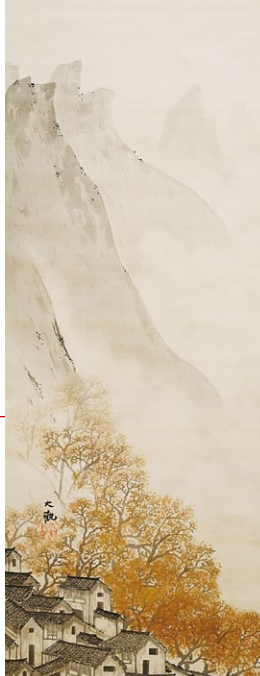
第3章

日本美術院の 巨匠たち ～新たな日本画を めざして～

岡倉天心の指導の下、東京画壇をけん引した日本美術院の横山大観・菱田春草・下村観山・木村武山ら「天心四天王」と、天心の薫陶を受けた第二世代の作家の作品を展示します。



下村観山「静清」1923～24年頃（大正12～13） 当館蔵



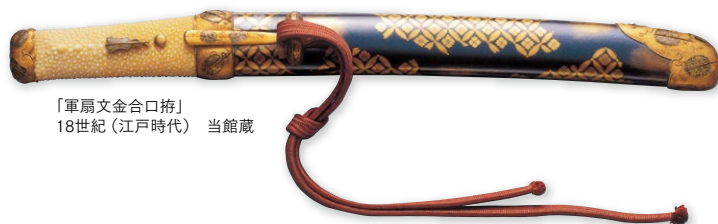
横山大観「老君出関」1911年（明治44） 当館蔵



第4章

岡島辰五郎 ～日本の美を世界へ～

福井出身の美術商で海外を舞台に活躍し、日本美術の理解と普及の一翼を担った岡島辰五郎を、同氏のコレクションとともに紹介します。



「軍扇文金合口拵」
18世紀（江戸時代） 当館蔵



竹山真彦「蜻蛉蝶秋草図緒締」
19世紀（明治時代） 当館蔵



竹内栖鳳「満林秋色」1937年（昭和12） 当館蔵

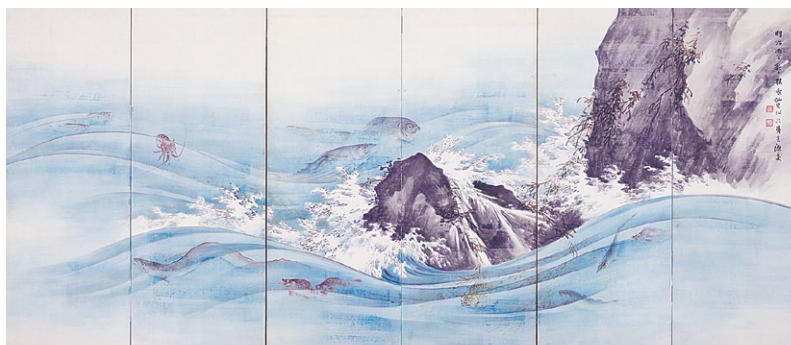
第5章

幸野樸嶺と 近代京都画壇 の系譜

福井ゆかりの日本画家で、近代京都画壇の主流をなした幸野樸嶺と、その系譜に連なる俊英・竹内栖鳳とその門下である小野竹喬・村上華岳の作品、そして京都画壇で栖鳳と並び称された山元春挙や、福井出身の南画家内海吉堂や山田介堂など、当時の京都画壇を代表する作家の作品を展示します。



幸野樸嶺「群魚図」1876年（明治9） 個人蔵



《イベント報告》

ピカソ

フランス国立図書館版画コレクション

Picasso et l'art ancien à travers les estampes de la collection de la Bibliothèque nationale de France

7/14(土)・8/26(日) 【主催】ピカソ展実行委員会（福井県立美術館、福井新聞社、FBC福井放送）



福井県立美術館では、福井新聞社およびFBC福井放送と実行委員会を組織し、7月14日(土)から8月26日(日)までの会期で、「ピカソ フランス国立図書館版画コレクション」展を開催しました。

20世紀最大の巨匠パブロ・ピカソ。その豊かな才能と制作量からピカソを凌駕する作家はないと評されています。版画のみをみてもそのことは明らかで、青年期から最晩年に至る70年以上に及ぶ創作活動において制作された版画数は2000点近くに及びます。本展では、その多くを所蔵するフランス国立図書館の膨大なコレクションから、ピカソの重要な版画作品を厳選して紹介するとともに、彼が美術史の巨匠たちから影響を受けて制作した数々の作品を併せて展示。多様に変遷したピカソの版画作品の独創的な表現の世界に光をあてました。また本展には、富山県美術館所蔵の油彩作品「パブロ・ピカソ《座る女》」が特別出品されました。

このようなピカソの世界を体感するため、県内外から連日、大勢の美術ファンが来館し、最終的な入館者数は、当館の歴代6位となる約3万8千人に達しました。このため、開館時間の延長等を行いました。

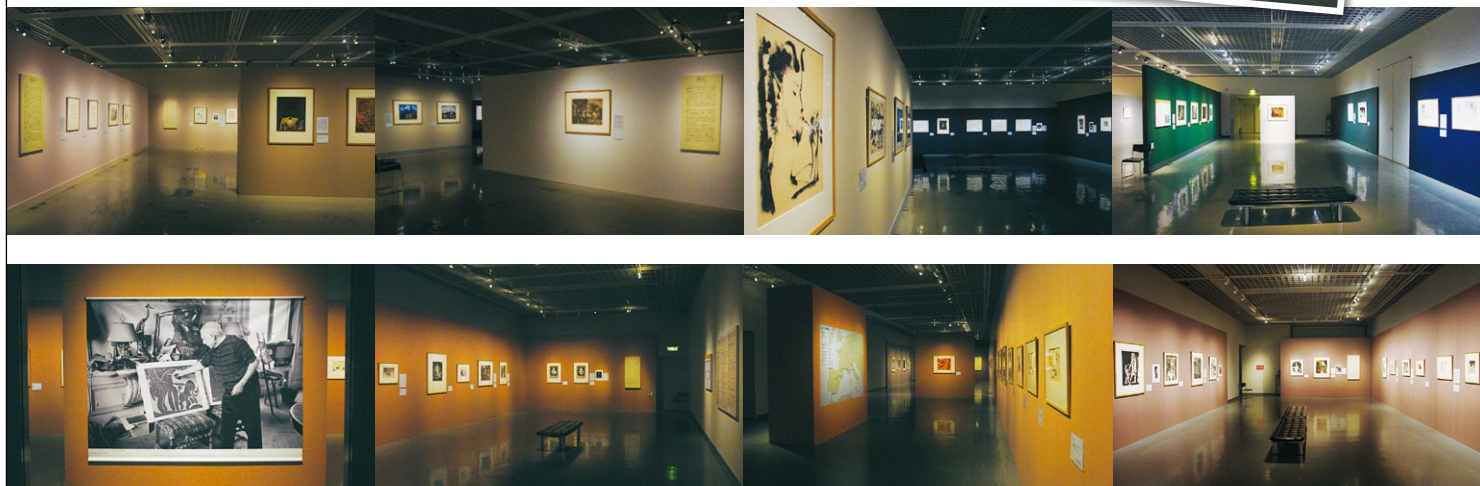
会期中は、土曜日を中心に、学芸員による「見どころ解説会」が実施され、解説を熱心に聞く方が多いため、質問コーナーを

設け、複数回開催する日をつくりました。また、映画「ミステリアス・ピカソ」の上映会、クリストフ・マルケ氏の講演会『フランスがもたらした大津絵の再発見 ―バルブトー、ルロワ＝グーランからマティス、ピカソまで―』、「美術館学芸員トークサロン『展覧会ができるまで ピカソと歌川広重展のお話』」が開催されるとともに、「学校鑑賞会」、「『おとな美』ミュージアム」等も開催され、多くの関連イベントが実施されました。

広報では、当館独自の対応として、コミュニティバス、駅、大型書店、店舗等でのチラシの配架、音楽会等を実施しました。また、新聞では、担当学芸員の寄稿（4回）、特集記事、広告等が掲載されるとともに、テレビ、ラジオでは、ニュース、スポットCM等が数多く放映されました。

これらの対応を実施したことから、入館者へのアンケートでは、多数の方が「大いに満足・満足」とされ、複数回来館された方もありました。

当館としては、この展覧会に御来場、御協力いただいた皆様に対して、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。



《関連イベント》

●学芸員による「見どころ解説会」

〔日 時〕 7月21日(土)、28日(土)、8月4日(土)、11日(土)、18日(土)、25日(土)、26日(日)
午前10時30分～、他
※8月26日(日)は午後4時30分～、午後6時～を追加

〔場 所〕 美術館講堂

〔講 師〕 芹川貞夫(美術専門員)(※7月21日(土))、
西村直樹(学芸員)(※7月28日(土)～8月26日(日))



「ピカソ展」の見どころを解説する西村学芸員
毎回約30分間にわたって行われた「見どころ解説会」。解説会終了後も質問者が後を絶たないことから質問コーナーが設けられたり、立ち見が出たこと等を受けて複数回開催する日をつくりました。

●映画「ミステリアス・ピカソ」の上映会

〔日 時〕 7月14日(土)～8月26日(日)
午前9時～午後5時(※イベント開催時を除く)
※8月25日(土)、26日(日)は午前9時～午後7時

〔場 所〕 美術館講堂

●クリストフ・マルケ氏の

「講演会『フランスがもたらした大津絵の再発見
ーバルブト、ルロワ＝グーランからマティス、ピカソまでー』」

〔日 時〕 7月28日(土)
午後2時～3時40分頃

〔場 所〕 美術館講堂

〔講 師〕 クリストフ・マルケ氏
(フランス国立極東学院(EFEO)院長・教授、大津びわ湖PR大使)



クリストフ・マルケ氏の「講演会」風景
当時フランスで大津絵に関心をもったピカソや、大津絵を再評価した浮世絵研究家のバルブト、先史学者ルロワ＝グーラン等について話していただきました。

●「美術館学芸員トークサロン『展覧会ができるまで ピカソと歌川広重のお話』」

〔日 時〕 8月17日(金)
午後7時～8時50分頃

〔場 所〕 美術館喫茶室ニホ

〔講 師〕 河野泰久氏(福井市美術館学芸員)、
西村直樹(学芸員)



河野学芸員(奥右)と西村学芸員(奥左)
展覧会をつくりあげるプロセスと裏話、パブロ・ピカソと歌川広重の違い等について語りつくしました。

■開館40周年記念 ファッションコラボ企画

タ イ ト ル	日 時	出演者・講師・協力者	会 場	参加者数(人)
発見!ピカソとボーダーシャツ なりきり写真撮影	平成30年7月21日(土)～8月26日(日)	福井駅前アパレルショップ 他	美術館エントランスロビー	439
開館40周年記念ポスター展 ～ファッションと観るその歴史～	平成30年7月30日(月)～8月26日(日)	福井文化服装学院	美術館貸展示室	1,595
夏を彩る 浴衣コレクション	平成30年8月4日(土)～8月26日(日)	啓新高等学校	美術館第3展示室	1,348
フェイスペインティング	平成30年8月12日(日) 9:30～14:00	啓新高等学校 他	美術館エントランスロビー	40
浴衣ファッションショー	平成30年8月12日(日) 12:00～/13:30～	啓新高等学校	美術館第3展示室	63

■夏だ!祭りだ!!ピカソだ!!!今年も浴衣着て、美術館でお盆休み

お盆は浴衣で美術館! 無料で浴衣 レンタル&着付 浴衣・着物での来館者にも粗品進呈	平成30年8月11日(土)～15日(水)	高井多佳美着付教室	美術館展示室 他	200
---	----------------------	-----------	----------	-----

■夏だ!祭りだ!!ピカソだ!!!音楽会

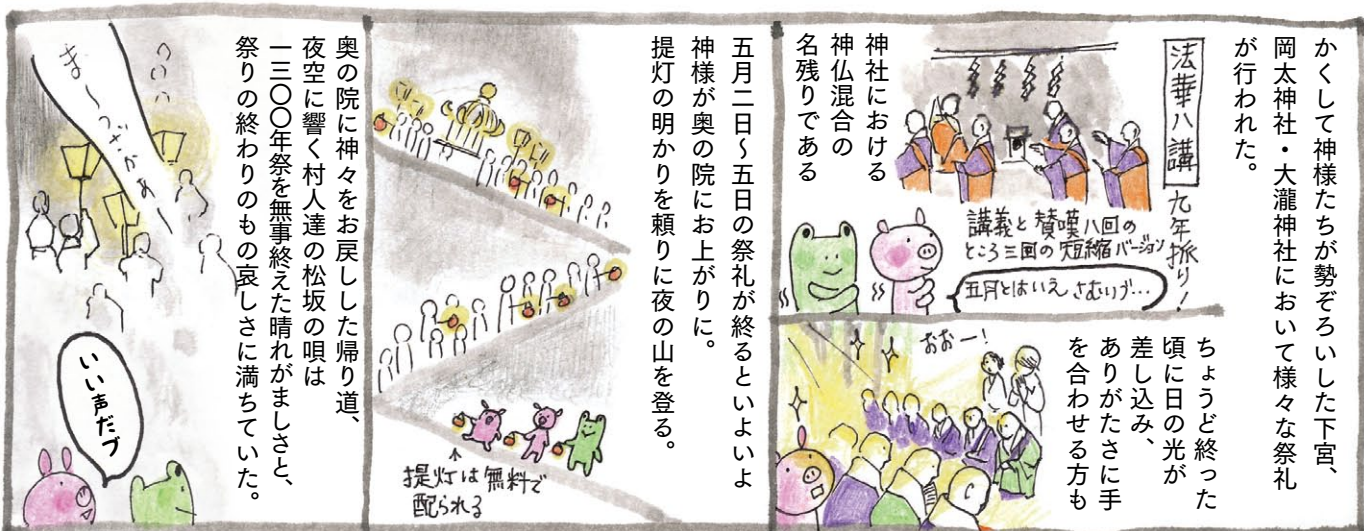
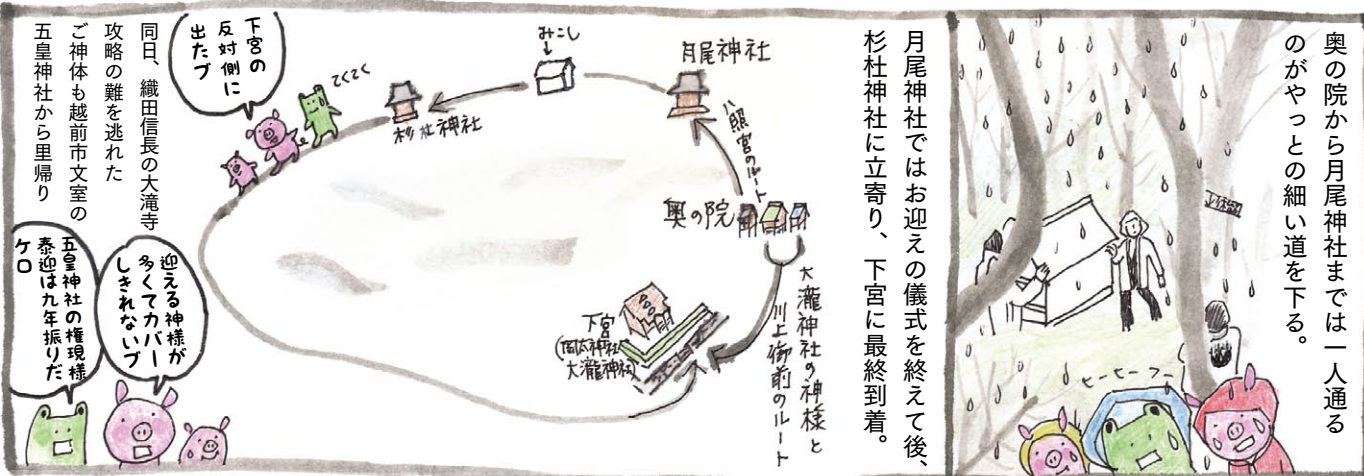
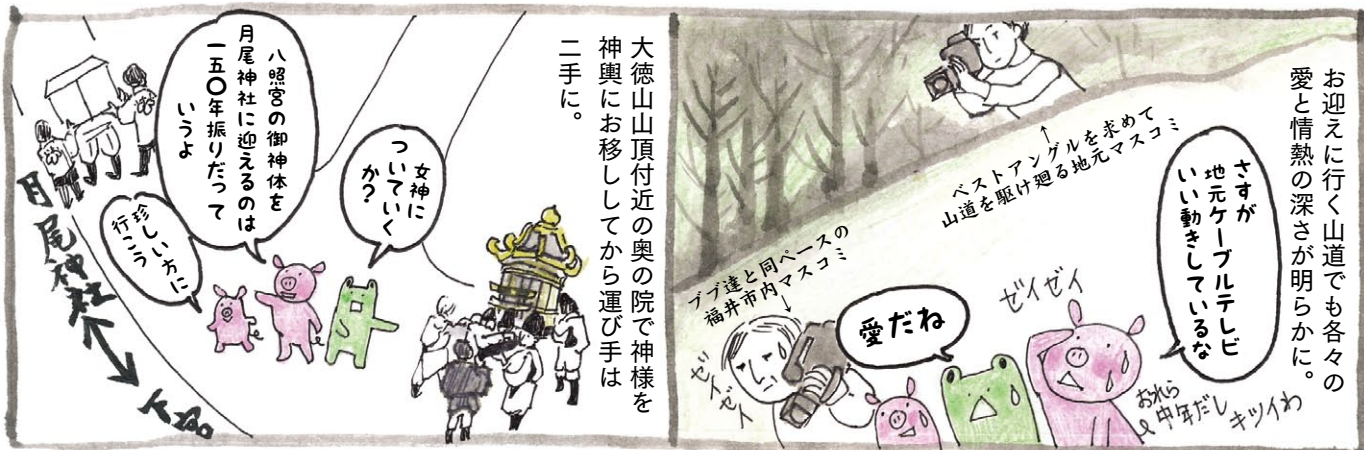
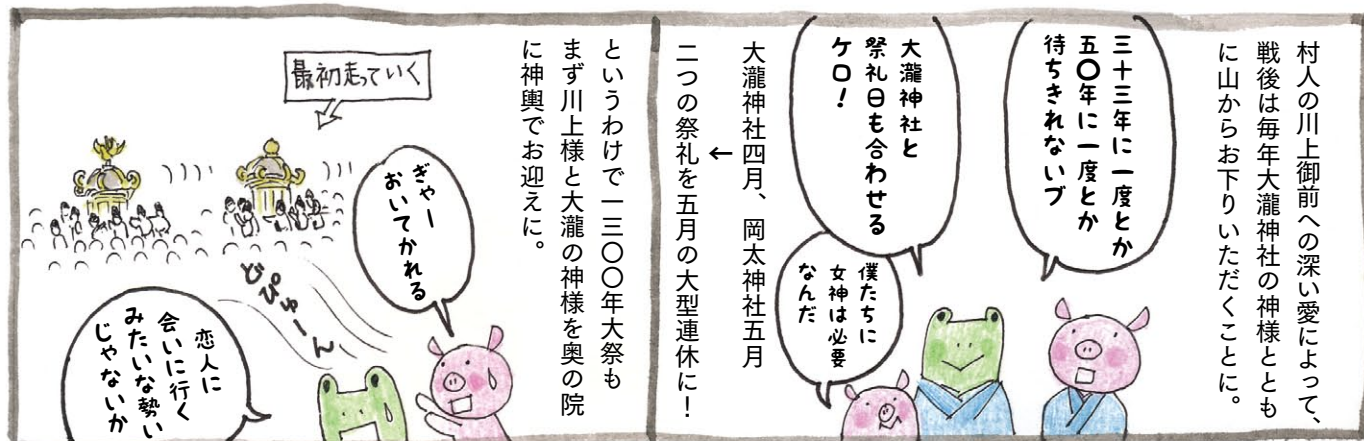
夏だ!祭りだ!! ピカソだ!!!音楽会	平成30年8月11日(土) 11:00～	Cocon(ピアノ・ドラム 他)	美術館貸展示室	143
	平成30年8月11日(土) 13:00～	門井ゼミナール(クラリネット 他)		
	平成30年8月11日(土) 14:00～	Cocon & 門井ゼミナールコラボセッション		
	平成30年8月12日(日) 11:00～	啓新高等学校ビックバンドジャズ部		100
	平成30年8月19日(日) 13:00～	リーフフォレスト(木製リコーダー・ウクレレ)		55

■高校生によるそば打ち実践

高校生によるそば打ち実践	平成30年8月12日(日) 12:30～/13:45～	啓新高等学校そば部 越前蕎麦道場(中山晴夫・宇野耕司)	美術館正面玄関	218
--------------	-----------------------------	--------------------------------	---------	-----

■ピカソ朗読劇

「ピカソの女たち」	平成30年8月18日(土) 11:00～/14:00～	内田博子・打田チカオ	美術館貸展示室	71
	平成30年8月19日(日) 11:00～/14:00～	内田博子・打田チカオ		86
	平成30年8月25日(土) 11:00～/14:00～	黒瀧一恵・打田チカオ		135



それゆけ！ ぶぶ広報部隊

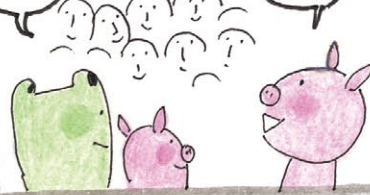
絵・文
ささきみほ

岡太神社 壹千叁百年大祭編 大瀧神社

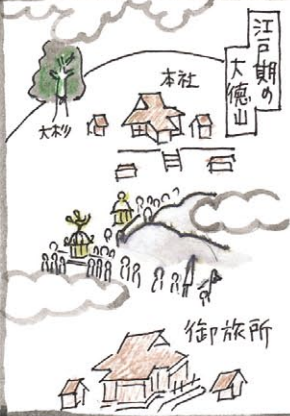
越前和紙の里の岡太神社・大瀧神社では、平成三〇年五月二日～五日に一三〇〇年大祭を行った。
当然ぶぶ広報部隊も連日のように通った。

県内の民俗系
学芸員が見事に集結
してるブ

さすが専門家、
要所を外さないケロ



現在、大瀧神社が鎮座する大徳山は
七一九年に泰澄が開山。
大瀧神社の前身・大滝寺を建立した。



明治元年（一八六八）の
神仏分離令までは国常立尊
（こくじょうたつそん）
伊奘諾尊を主祭神に、
十一面観音を本地仏
とする神仏習合が
行われていた。

十一面観音を本地仏
とする神仏習合が
行われていた。

本来の姿



こーいう
意味だブ

変身後



国常立尊

伊奘諾尊

この地に紙漉の技を伝えたと言われる
女神・川上御前を祀った岡太神社は、
大瀧寺の摂社として、古くから大切に
にされてきた。

美女に肩入れ
するのは人情
だケロ



村のなりわい
にも直結して
いるブ

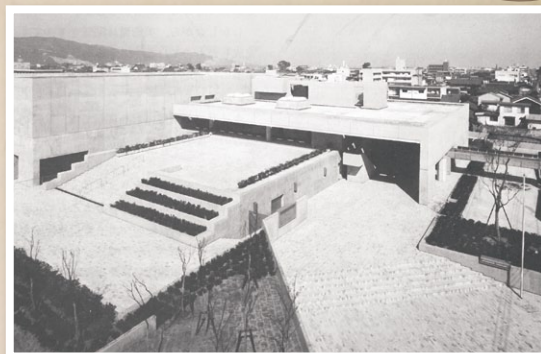
越前和紙の里マップ



シリーズ ふく美の記憶② 開館初日 (1977年11月1日)



開館記念式典の様子



開館当初の美術館外観

開館40周年を迎えた福井県立美術館の歴史を振り返るシリーズ「ふく美の記憶」、その第2弾は開館初日を取り上げる。1977年11月1日10時30分、講堂において開館記念式典が行われ美術館が始動、同日から「第30回福井県総合美術展」も開催され、華々しい初日を迎えた。コレクションがあって開館する美術館が多いなかで、開館時の福井県立美術館の収蔵品はゼロであった。初年に葛飾北斎「杢人春秋山水図」や横山操「川」「網」など17点を収集（購入・寄贈を含む）。また佐藤武夫事務所の設計による建物が、1980年の第21回BCS賞を受賞したことは特筆される。当時の写真を見ると、まだ現在の第2・3展示室は無く、開放的な空間が広がっている。



第30回福井県総合美術展会場風景



吉田ヨーゾー「センスのある犬」個人蔵

次回展覧会のお知らせ

コレクション/テーマ展

Reborn ～未来へのアップデート～

50周年へ向けた初めの一步として、県美のコレクションを中心に、美術館とアートの「未来」について考えるシリーズ企画を開催します。

I 未来の秘密 12月7日(金)～12月24日(月祝)

コレクションにみるアートの過去・現在・未来。

II 未来を発明 1月3日(木)～2月6日(水)

県とゆかりのある若手作家による、県立美術館コレクションとのコラボレーション。
※1月3日(木)～1月20日(日)は新春展を同時開催。

III 未来を掘る 2月15日(金)～3月17日(日)

身体的なハンディをもとめせず制作にはげみ続け2016年に他界した故吉田ヨーゾーと小野忠弘の交流を軸に紹介し、アートの開かれた可能性を探る。

お知らせ

◎2018年10月～2019年1月の休館日について

展示替え、館内メンテナンスなどのため、下記期間は休館とさせていただきます。

10月休館日なし。

11月2日(金)～8日(木)、15日(木)、22日(木)、26日(月)～29日(木)、12月3日(月)～5日(水)、25日(火)～31日(月)、1月1日(火)、2日(水)